

コミュニティカフェ つながりのデザインカフェにて

薬膳スープを主な商品とした軽飲食店とコミュニティサロン室で交流の場

町田で、バリアフリーカフェがオープンすることを Facebook で知り、なんと、「たまりば」の理事長である鶴田さん手がけていることを知り、早速、挨拶と伺いました。実は、今、町田でバリアフリショップの紹介を手がけており、詳細は、後ほど……。

バリアフリショップとしては、最低限、車いすで利用できることが必須ですので、厳しくチェック。写真でも分り（後ほど、写真では伝わらない部分は動画配信か？）ますよう、テーブル、トイレ・コミュニティ室へのスロープと、さすが、FJC の理事長、恐れ入りました。

？、どこか似ているな、あ！葉根淡……………。

やはり、この設計は、福井塾長がされたそうです。納得でした。

あとは、コミュニティサロンのソフト待ちか！ いや、古武術介護術が始まっていました。

ソフトがそろった段階で再取材か、



車いすと人とのテーブル間隔は、余裕



サロン室へのスロープ



トイレ



右側の洗面所



車いすも十分な間口

福井塾 3期生 大脇 秀雄（多摩のおやじ）